



横尾中だより

校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

R6. 1. 10
第47号

発行者
長崎市立横尾中学校
校長 小浦 末浩

謹賀新年



新年、明けましておめでとうございます。
今年も、保護者の皆様、子どもたち、本校教職員、地域の皆様にとって、健康で幸多き年となることを祈念いたしております。

令和6年、2024年は、十干十二支（じっかんじゅうにし）でみると、甲辰（きのえたつ）の年。「甲」は、十干（じっかん）の一番最初の文字で、物事の「はじまり」を象徴します。草木が成長し勢いを増す様子を表すとも言われています。また「辰」の字にも成長の意味があります。元々は「振」から文字を当てられたのが「辰」。万物が成長し動きが盛んになる様子象徴すると言われ、「甲辰（きのえたつ）」は、上昇し勢いを増しながらぐんぐんと成長していく年だそうです。今年は、子どもたちが、心も体も学習面も、ますます成長してくれることを願っております。

さて、1月9日（火）、第3学期の始業式を体育館で実施しました。冒頭、能登半島地震で亡くなられた方々を思い、黙とうを全員で行いました。また、現在も寒い中、電気や水も通わず、苦しい生活をされている被災者の皆様、またライフラインを復旧すべく、昼夜を問わずに活躍されている関係者の皆様のご努力などについても考えてもらいました。

式辞の中では、第3学期に取り組んでほしいことを伝えました。3年生には、いよいよ来週に迫った私立高校の入試、高校は「自立」のための準備であり、高校生活で自分の能力を伸ばしてほしいこと、卒業式まで楽しい学校生活を過ごしてほしいことなどを、英語で話しました。日頃より、「挑戦」することを生徒たちに話しておりますので、私も新春に当たり、チャレンジさせてもらいました。また、全校生徒に、今学期取り組んでほしいこととして「学力向上」、特に家庭学習の充実について話をしました（ここからは日本語です）。昨年度末に、学校評価をお願いし、一番よくなかったのが、この家庭学習の習慣化でした。1年生45%、2年生42%、3年生70%という、生徒からの回答でした。高校入試に、全学年の結果が影響しますので、3年になってから真剣に勉強に取り組むのではなく、1年、2年のうちから、家庭学習の習慣化を図り、中学生が取り組むべき課題は、学力向上だと意識していただきたいと思います。3学期は寒い日々が多いかと思っております。健康に留意し、元気に過ごしてくれることを願っております。

新学級委員・生徒会役員

1月9日（火）の第3学期の始業式の後、各種の任命式を行いました。

生徒会役員に関しては、1月から12月までが任期となっております。



(1) 第3学期 学級委員

3学期に学級を引っ張って行く学級委員は、次の人たちです。3年生は最後の学級委員となります。

1年1組	森田さん	南さん
2年1組	東尾さん	梅本さん
3年1組	横山さん	中村さん
3年2組	坂口さん	宮澤さん

(2) 生徒会役員

令和6年の生徒会役員です。松井生徒会長さんには、おおいに期待しております。3年の山下前生徒会長をはじめ、旧生徒会役員も1年間、よくがんばってくれました。おつかれさまでした。

生徒会長	松井さん
副会長	茶谷さん
副会長	横石さん
2年執行委員	大山さん
1年執行委員	松崎さん
1年執行委員	平川さん

次の人たちが、今年の専門委員長さんたちです。

学習部	川口さん
環境部	三田さん
保健部	岡田さん
文化部	山口さん
図書部	渡邊さん



始業式での
「3学期の抱負」

